

－教会直接支援の終了にあたって－

義捐金配分委員会
理事 秋山善久

教会直接支援部門（ケリュグマ）では、皆様から教会再建のために捧げられた献金を、その趣旨が十分に生かされるよう慎重に用いてまいりました。

支援の内容としては、会堂が破損するなど被害を受けた教会へのお見舞い、会堂の再建及び大規模修復のための支援、被害が甚大であった信徒家族への支援、原発被害を受けている教会の牧会支援、そして教会ネットワークによる活動支援などでした。これらの働きのため、これまで多くの教会と個人から尊い献金が寄せられましことを、心から厚く御礼申し上げます。

皆様からの献金により、教会再建の助けとなり、励ましを受け、牧会活動が前進したことでした。

この度、教会直接支援部門は 2013 年末をもって、献金の受け入れを終了させていただくことになりました。理由は、教会直接支援が緊急対応としての働きであって、当初の役割を果たしたと考えられることです。今までの皆様のお祈りと尊いご支援を心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

昨年、東北ヘルプは NPO 法人として認可を受けました。被災地での支援のニーズは高く、今後も教会ネットワークの働きなど、特定の宗教に限らない支援活動を継続していく必要があります。そこで 2013 年末以降において教会直接支援に入金された場合においては、教会ネットワーク支援として用いさせていただきます。この働きのために覚えていただきますよう、お願い申し上げます。

【 これまでの主な活動 】

- 2011 年 3月 緊急支援を全体会で決議
- 5月 義捐金委員会を組織
- 6月 被災区域の教会に、会堂被害に対しての義捐金申請の送付
お見舞い金の給付（8月にて申請終了）
- 7月 大規模被災していると報告された会堂への委員による現地調査
- 8月 被災区域の教会に教会の人的被害に対する義捐金申請を送付
給付（2012 年 1 月にて申請終了）
- 2012 年 1月 原発事故牧会支援の申請書を送付（700 通）（2013 年6月にて申請終了）
大規模会堂修復の支援（2013.3 申請終了）
- 2月 教会ネットワーク支援

以後、上記の内容において委員会(32 回)を開催し、義捐金を配分する。年月は省略。

【被災した教会 例】



郡山聖書バプテスト教会



気仙沼第一聖書バプテスト教会



仙台シーサイド教会

【修復(計画)例】



郡山聖書バプテスト教会



気仙沼第一聖書バプテスト教会

現在、再建計画を策定中

シーサイドバイブルチャペル

緊急支援	見舞金	教会修復支援金	人的被害支援	原発事故牧会支援	活動支援
2 教会 1 宣教師	94 教会	16 教会	69 教会 197 世帯	31 教会	4 ネットワーク
400,000 円	9,360,000 円	17,442,070 円	18,950,000 円	3,100,000 円	7,380,000 円

【 会計報告 】

ケリグマ部門収支計算書(累計)

自 2011年03月18日

至 2013年12月31日

(単位：円)

	金額
献金収入 (教会・個人)	83,642,312
その他収入 (普通預金利息)	33,373
収入計	83,675,685
職員給料 (スタッフ給与)	1,680,000
職員手当 (スタッフ住宅・通勤手当)	240,000
法定福利費 (スタッフ社会保険料)	371,958
報酬 (謝礼金・弁償金)	3,223,710
新聞図書費 (新聞・書籍)	1,200
通信運搬費 (電話・郵便・運賃)	219,866
賃借料 (レンタカー等)	420,000
支払手数料 (銀行手数料)	206,140
外注費 (HP・翻訳等)	461,094
消耗品費 (10万円未満の消耗品)	64,310
事務用品費 (10万円未満の文具等)	227,941
広告宣伝費 (チラシ等)	522,100
租税公課 (自動車税)	57,700
旅費交通費 (職員・関係者旅費)	2,334,246
燃料費 (ガソリン代)	194,698
地代家賃 (事務所家賃)	300,000
保険料 (車両保険)	74,550
会議費 (食事代・会場代等)	237,848
支援費 (見舞金・支援金等)	65,560,202
備品購入費 (ガイガ-カウンター・ビジネスフォン)	111,300
出資金支出 (東北デアコニア基本財産)	3,000,000
支出計	79,508,863
収支差額	4,166,822

※ 会堂再建支援予定

シーサイドチャペル 3,000,000円